

令和7年度 自治会長アンケート調査結果報告書



茂原市マスコットキャラクター「モバリん」

令和7年6月

茂原市・茂原市自治会長連合会

内容

1. はじめに	3
2. 調査の概要	3
(1) 調査期間	3
(2) 調査対象者数	3
(3) 調査方法	3
(4) 回収結果	3
3. 自治会長自身のことについて	4
(1) 居住地域	4
(2) 性別	4
(3) 年齢	5
(4) 在職年数	5
(5) 就労状況	6
4. 自治会長の選出方法について	7
(1) 会長の任期	7
(2) 会長の選出方法	7
(3) 役員の免除制度	8
(4) 会長・役員任期の始期及び終期	8
(5) 主な自由記述（自治会長の選出方法について）	9
5. 自治会の運営について	11
(1) 年会費	11
(2) 会計年度の始期及び終期	11
(3) 年会費の集金方法	12
(4) 年会費の集金頻度	12
(5) 寄附金等	13
(6) 年会費の免除制度	13
(7) 祭礼費用等	14
(8) 集会所等の積立	14
(9) 自治会活動保険	15
(10) 会議の開催頻度	15
(11) 会議の開催方法	16
(12) 主な自由記述（自治会の運営について）	16
6. 自治会の現状と課題について	18
(1) 現在の取組内容（複数回答）	18

(2)	現在の課題（複数回答）	18
(3)	ごみ集積所について	19
(4)	主な自由記述（今後の課題について）	19
(5)	主な自由記述（今後取り組みたいこと）	21
7.	自治会加入促進の取り組みについて	23
(1)	加入率の推移	23
(2)	二世帯住宅の取り扱い	23
(3)	賃貸住宅の取り扱い	24
(4)	未加入者の対応（複数回答）	24
(5)	退会者の抑制策（複数回答）	25
(6)	主な自由記述（自治会加入促進の取り組みについて）	25
8.	その他の意見・提案	27
9.	調査票	31

1. はじめに

茂原市では、地域で住民の皆さんがより豊かで快適に安心して暮らしていくために、自治会をはじめとする地域コミュニティの充実は欠かせないものであるとして、茂原市自治会長連合会、各地区自治会長連合会及び各単位自治会と連携しながら、コミュニティ活動を支援しております。



茂原市自治会長連合会は、市内 10 地区・235 の単位自治会の長によって構成され、自治会相互の連帯意識の高揚と協調を図り、自助・共助・公助の精神に則り、強い絆で結ばれたまちづくり、地域づくりに努めています。

自治会の加入率は全国的にも年々減少傾向にあります。近年相次いでいる自然災害等への対応や防犯、環境整備、青少年の健全育成など、自治会の果たす役割はますます重要性を増しています。

そこで、茂原市及び茂原市自治会長連合会では、各自治会の実態を把握するとともに、今後の運営の参考にしていただくことを目的として、自治会長の皆さんを対象に、アンケート調査を実施いたしました。

この「令和 7 年度自治会長アンケート調査結果報告書」は、アンケート調査の結果を統計的に取りまとめたものです。

この結果を踏まえ、茂原市自治会長連合会の中に設置されている「組織部会」を中心に、自治会の組織強化や加入促進について、引き続き検討してまいります。

2. 調査の概要

(1) 調査期間

令和 7 年 3 月 6 日～4 月 11 日

(2) 調査対象者数

単位自治会の会長 235 名

(3) 調査方法

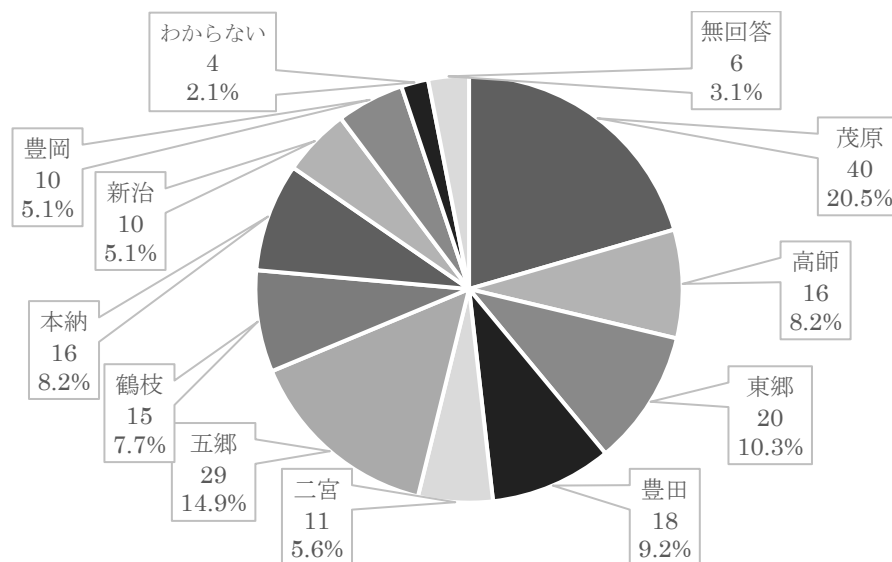
アンケート用紙を文書配布にて各自治会長に配布、郵送で回収

(4) 回収結果

回収数 195 件（回収率 83.0%）

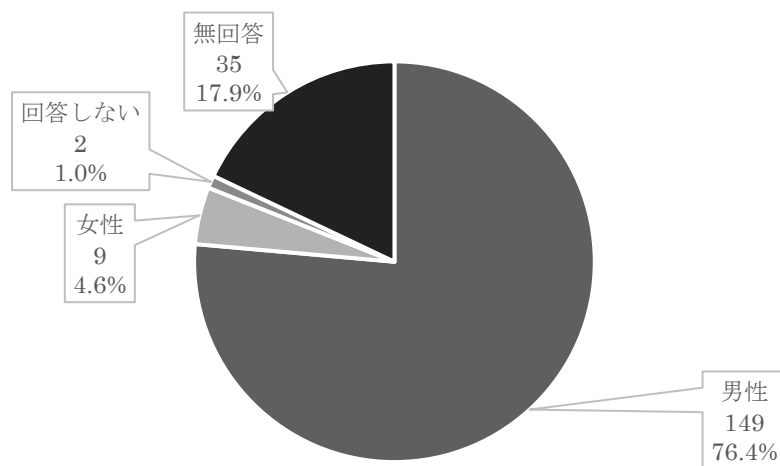
3. 自治会長自身のことについて

(1) 居住地域



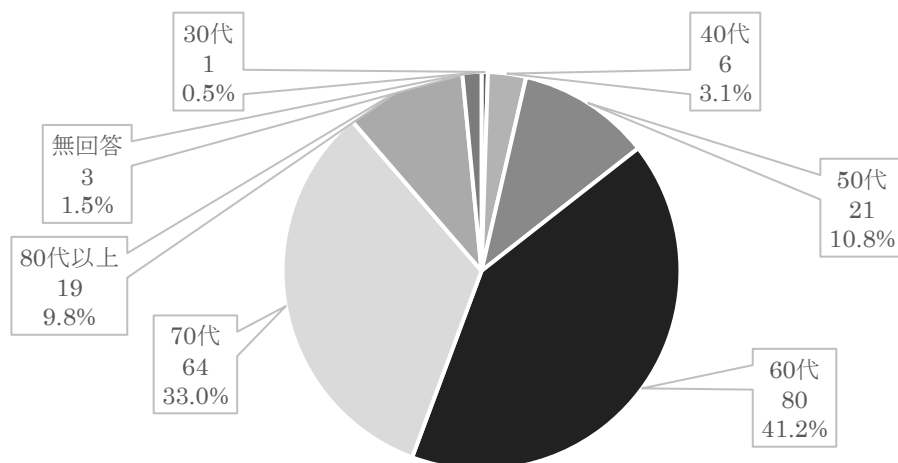
居住地域については、おおむね各自治会の所属する地区連合会を回答していましたが、異なる地区を回答したり、「わからない」と回答したりする事例も見受けられました。

(2) 性別



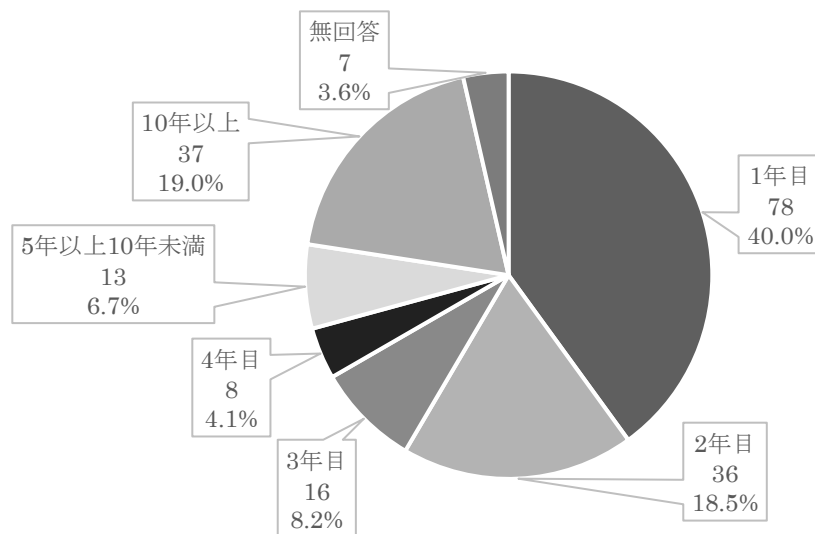
性別については、全体の約8割が男性という回答であり、女性は9名でした。

(3) 年齢



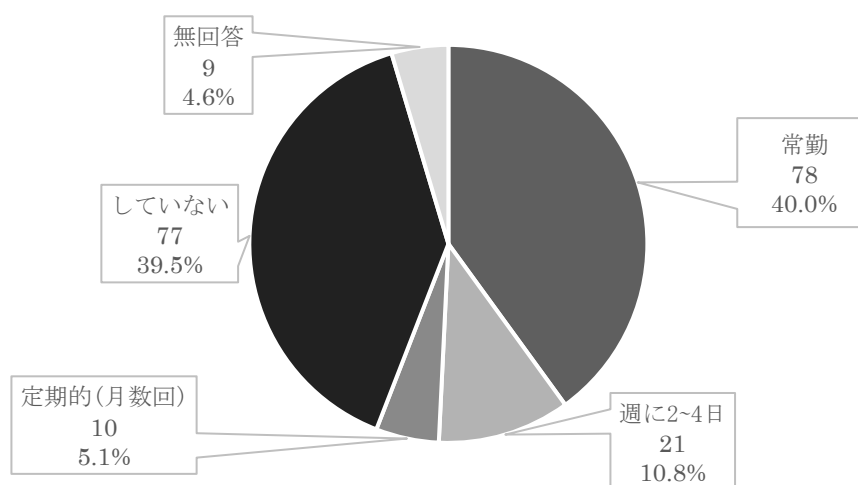
自治会長の年齢については、60代が最も多く、次いで70代となり、60代以上が全体の8割以上を占めていることが見てとれます。

(4) 在職年数



在職年数については、「1年目」と回答した自治会長が4割であり、次いで「10年以上」、「2年目」という結果となりました。

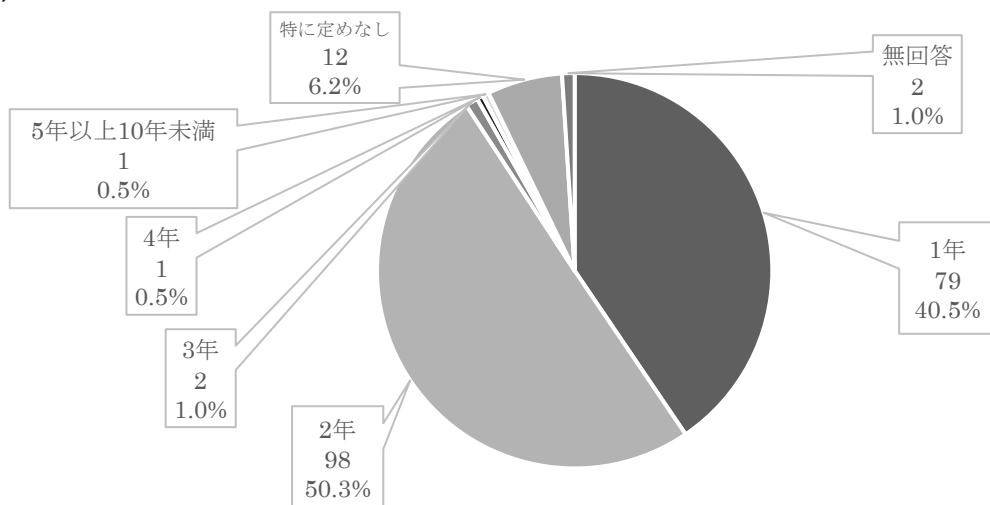
(5) 就労状況



就労状況については、「常勤」、「していない」と回答した自治会長がそれぞれ4割を占めました。

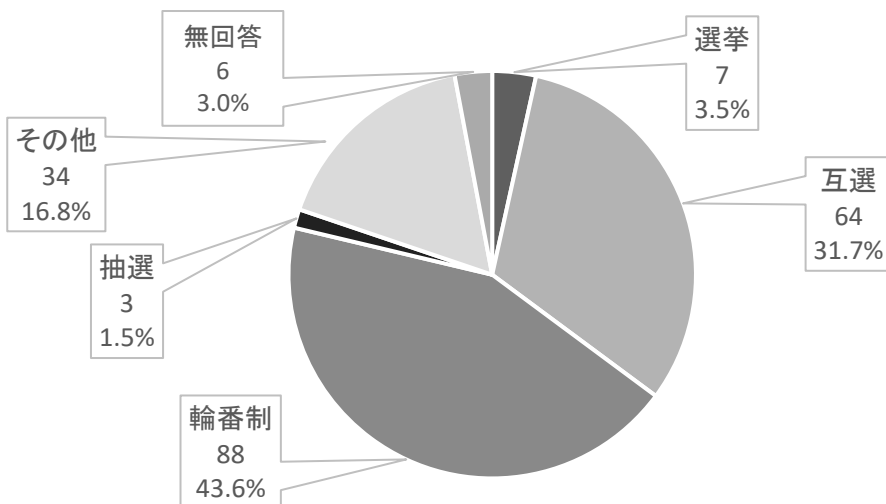
4. 自治会長の選出方法について

(1) 会長の任期



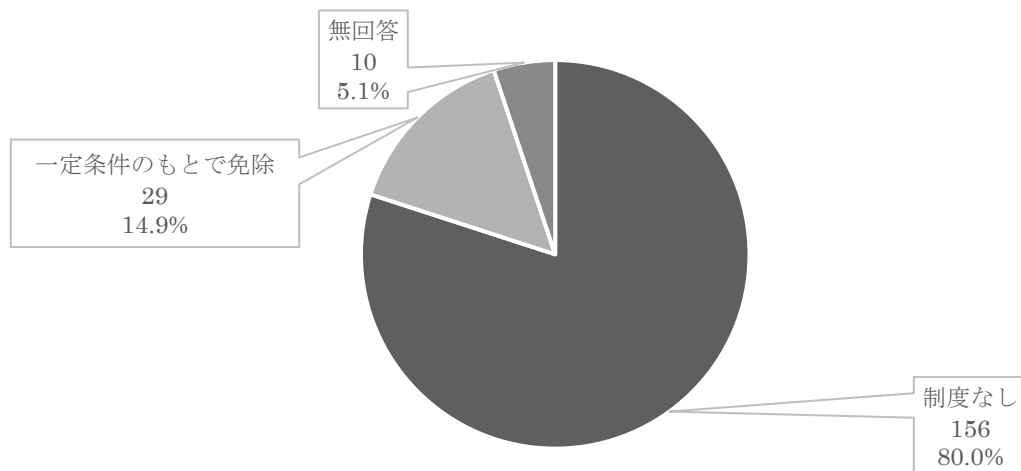
会長の任期については、「2年」が全体の半数を占め、次いで「1年」であるところが4割となり、全体の9割が任期2年以下であることが見てとれます。

(2) 会長の選出方法



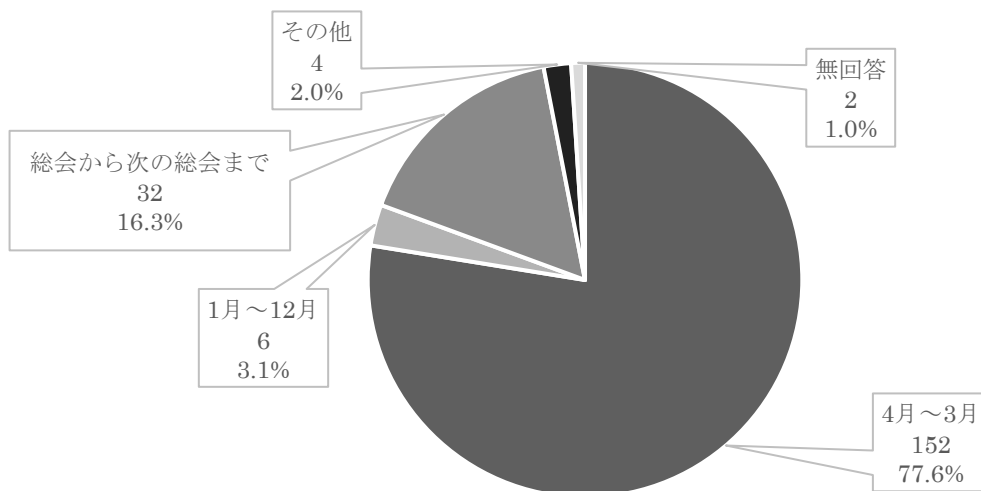
会長の選出方法については、「輪番制」が全体の4割強と最も多く、次いで「互選」、「選挙」となっており、「その他」では、「話し合い」や「年齢順」という回答がありました。

(3) 役員の免除制度



自治会役員の免除制度については、8割が「制度なし」と回答しました。免除の「一定条件」については、「三役経験者」、「70歳以上の単身世帯」、「世帯構成が80歳以上のみ」、「高齢の場合」などが挙げられました。

(4) 会長・役員任期の始期及び終期



会長・役員任期の始期及び終期については、約8割が「4月始まり・3月終わり」との回答でした。

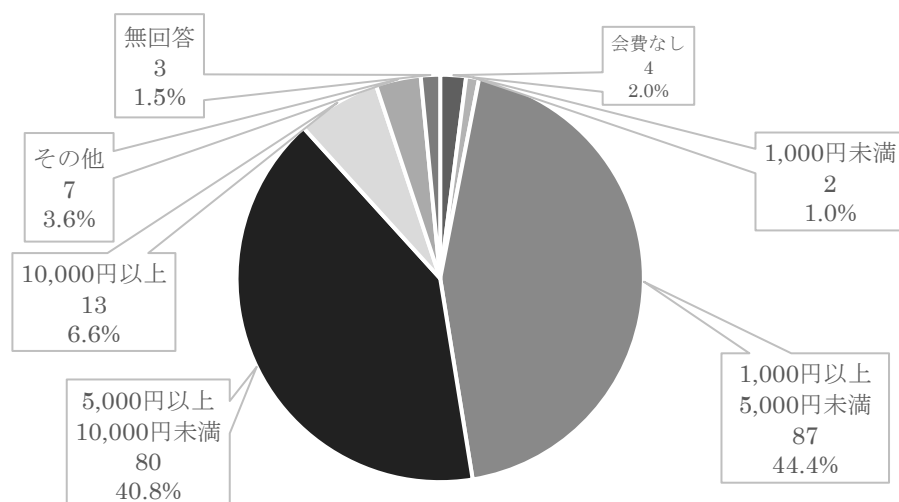
(5) 主な自由記述（自治会長の選出方法について）

- 令和7年度から輪番制としました。それまでは互選でした。
- 会長だけでなく、役員のみなり手（引き受ける人）がいなくて困っている。
- 役員を選出は基本輪番、その後役員から選出。
- 世代交代を模索しておりますが、65才以上の方もほとんどの方が仕事をもっており、交代が進まない。
- 1.推薦方式、2.年功序列というか年齢順です。
- 現在の任期1年を2年に変更し、再選回数を限定する様に改正するよう検討中。
- 自発的にやる人がいないため、役員が頼んでやっている。
- 現状では互選が良いと思います。
- 会長をやらない理由をみんなが話して決まらない。仕方なく会長をやっているが、次の会長を引き受けてくれるだろうか心配である。
- 当自治会は会員全員により推薦された方を会長としております。推挙して拒否された場合本人が続投します。
- 自治会の会員数が20軒台になり、且つ高齢で1人暮らし or 夫婦のみで、自治会長を担う人が限定され、負担が増えて困る。
- 全ての班を3グループに分け、各グループから3年毎に会長候補者を選出。選出された者は副会長2年を経て会長を1年間務める。
- ゆるい輪番制で、サラリーマンは定年まで後回しにしている。原則副会長を1年行った者が会長に成る。
- 輪番制となっても「老人だから」「役員がイヤ」等でパスしながら輪番制を何とか維持している。
- 輪番制が良いがそれを言うと退会する。
- ただ単に輪番制にしてやらせれば良いというものではないと考えます。かと言って、自治会役員から育てる方法がありますが、60歳以上65歳位までは皆さん働いており、なかなか適任者がいないのが現状であります。
- 会計→会長→相談役となりますが、役員就任者が高齢化により、なかなか変わらないのが現状である。
- 当自治会は旧1班と旧2班なので、順次方式にして欲しいところです。
- 役員輪番が該当の組内で相談し決定、その年度の自治会長に報告する。
- 年度終わりの総会で選出（輪番）。
- 輪番制になっていますが高齢か若く常勤で時間のない人たちのみなので、最小限の活動で続けられるよう活動しています。
- 現状は当自治会内3地区の各区長より輪番制により選出されている。各区長選出方法においても年齢や家の回りでほぼほぼ決定されている。適任者運営が困難で脱会希望世帯を生じ、改善が急務と感じる。

- 前年中に役員選考委員会を実施しております。
- 自治会役員が一本釣りをお願いし、役員会で協議、総会で承認。
- ●●では順番制であり年上が会長、年下が会計です。問題なく進んでいます。
- 困難を極めている。なり手がいない。前任者数人で訪問して甘い言葉で承諾させる。実際は異なる。
- 病気持ちで高齢の為なり手がいない。
- 規約はないが昔から慣例で全て何ら支障なく運営されている。
- 3 役の勧誘等による。
- 最近では皆さん高齢になり出来なくなってきたので相談しようと思ってる。
- 単自治会では検討委員会で候補者を選出し、個別折衝する。地区自治会長連合会では役員会、顧問とも打合せ等で候補の目当てをつけ、個別折衝するが、なり手が無く難航する。やむなく留任等（最難関である）。
- 6 班構成で、6 人の班長の中で会計・副会長・書記・会長の役員を輪番制で割り当てている。防災委員は会長が個別に指名する方式としている。
- 長期に渡り役員の就任者不在。
- 次期会長の了承を得ない限り会長が変えられない。会長自身が次期会長候補を探さねばならず、自治会への関心が少ない中、難儀している。引き受けるものなどない。
- 引き受ける人がいなくて大変です。一応、会長職は話し合いで決めます。
- 免除制度・令和 8 年度より繰り上げ選出予定。
- 基本は自薦他薦、無ければ前会長の推薦。

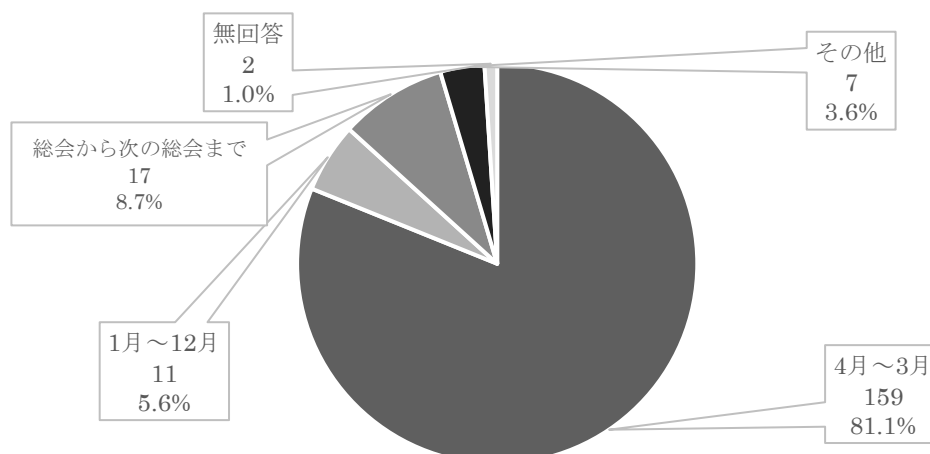
5. 自治会の運営について

(1) 年会費



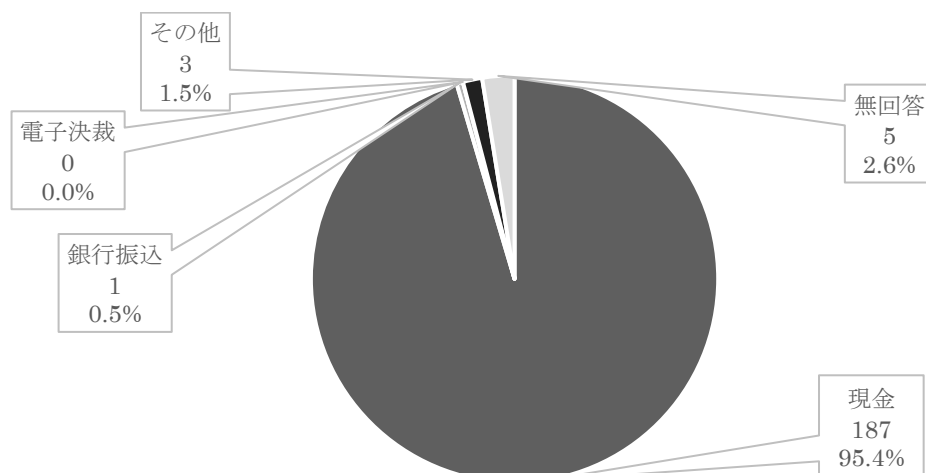
年会費については、「1,000円以上 5,000円未満」が4割強と最も多く、次いで「5,000円以上 10,000円未満」、「10,000円以上」となり、全体の9割弱が10,000円未満であることが分かりました。

(2) 会計年度の始期及び終期



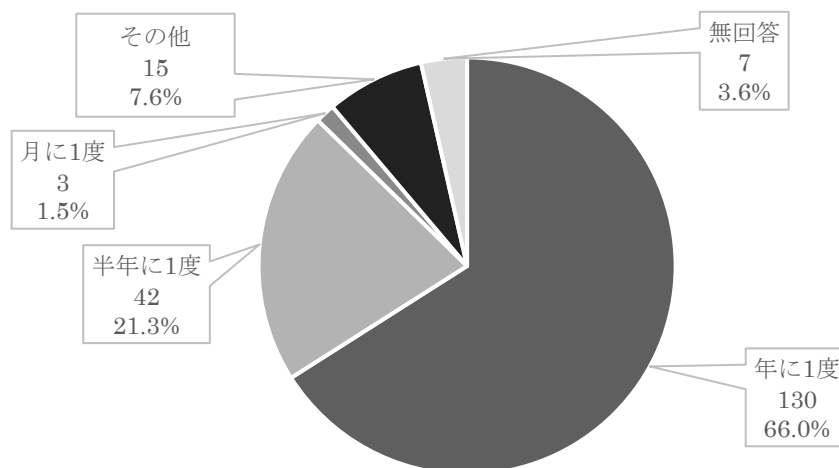
会計年度の始期及び終期については、「4月始まり・3月終わり」が最も多く、8割を占めました。

(3) 年会費の集金方法



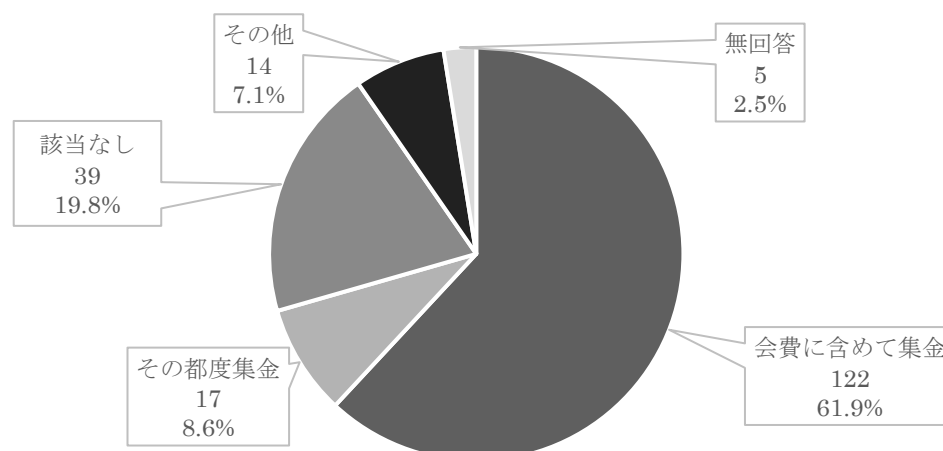
年会費の集金方法については、95%が「現金」による集金ですが、「銀行振込」で対応している自治会も1件あることが分かりました。

(4) 年会費の集金頻度



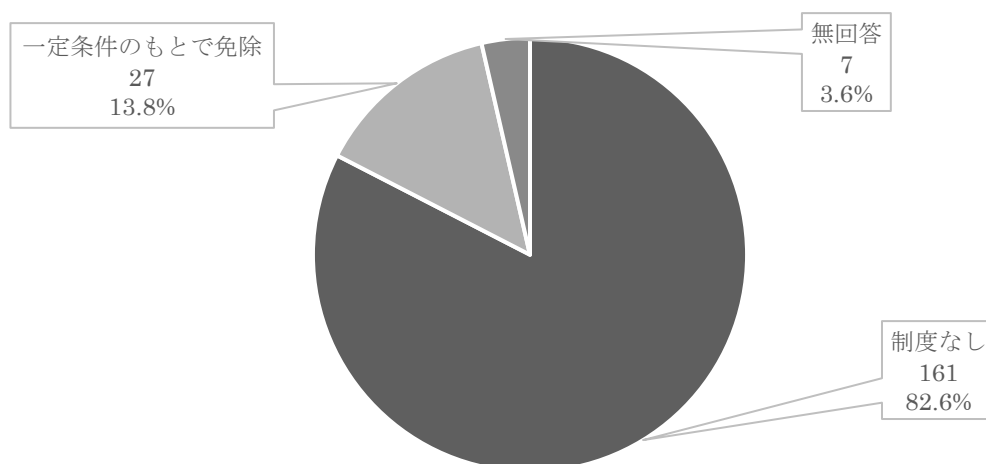
年会費の頻度について、7割近くの自治会長が「年に1度」と回答し、次いで「半年に1度」、「月に1度」という結果になりました。

(5) 寄附金等



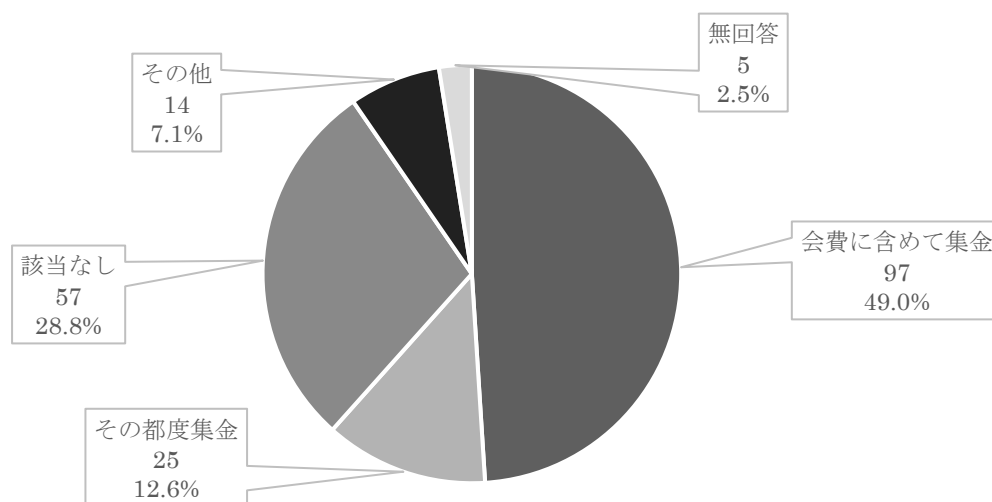
寄附金等については、約6割の自治会が「会費に含めて集金」しており、次いで「その都度集金」していることが分かりました。

(6) 年会費の免除制度



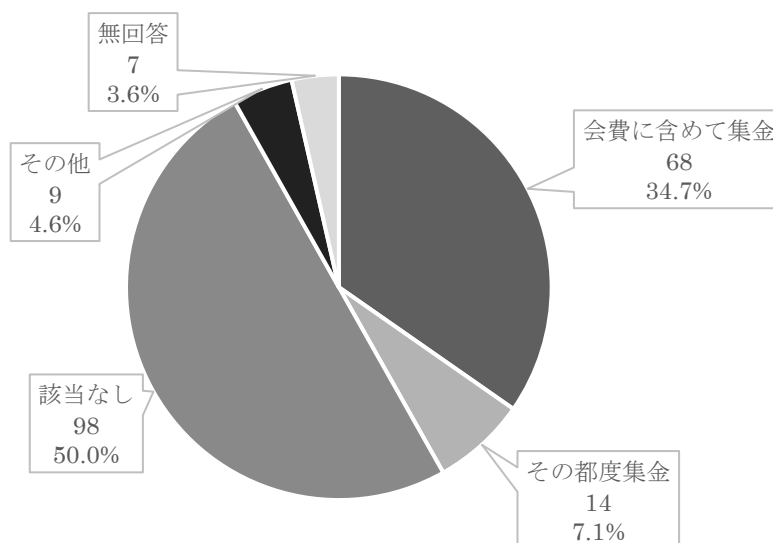
年会費の免除制度については、8割強が「制度なし」と回答した一方、1割強の自治会で、「生活保護」、「一定の年齢以上」、「入院期間中」などの「一定条件」のもとで免除していました。

(7) 祭礼費用等



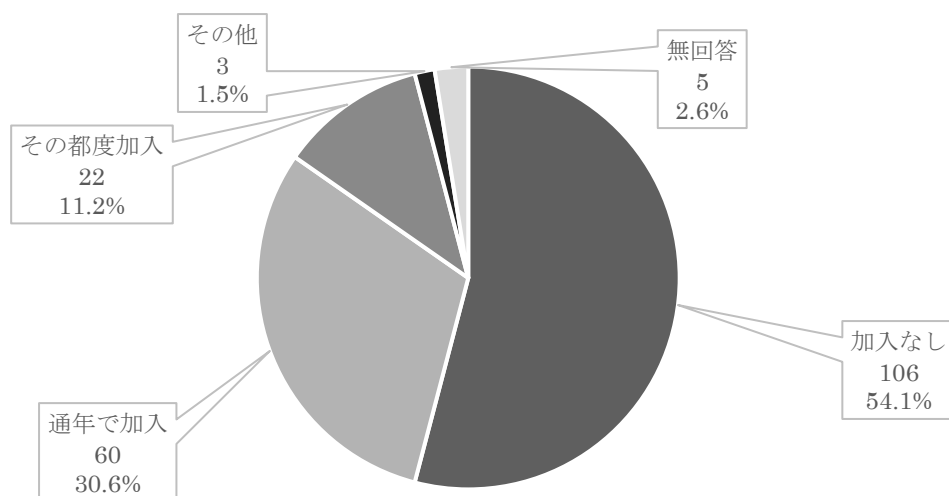
祭礼費用の取扱いについては、半数近くの自治会が「会費に含めて集金」しており、1割強の自治会が「その都度集金」していると回答しました。

(8) 集会所等の積立



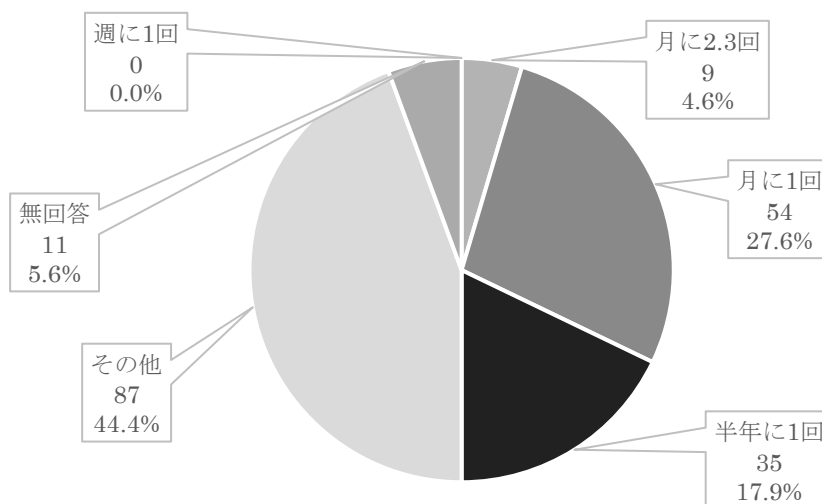
集会所等の積立については、半数の自治会が「該当なし」となっている一方、「会費に含めて集金」している自治会が3割強であることが分かりました。

(9) 自治会活動保険



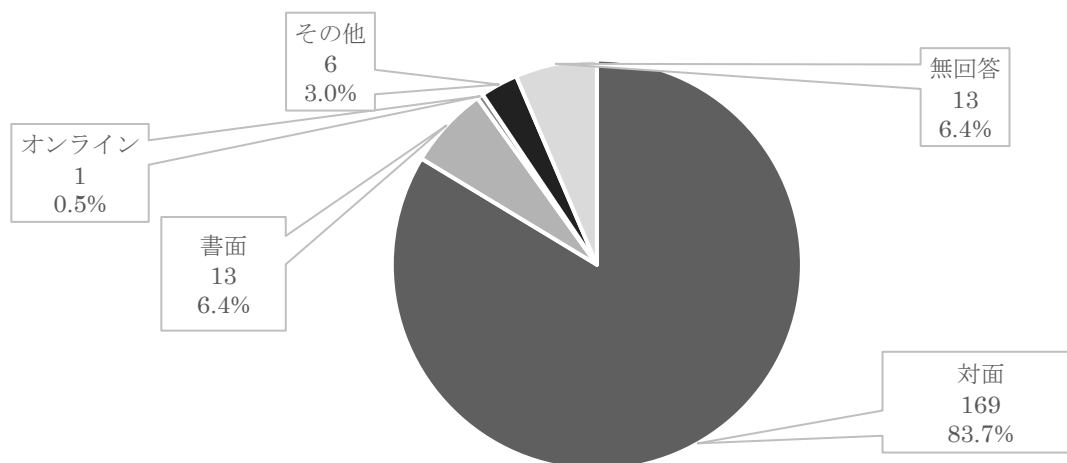
自治会活動保険については、5割強が「加入なし」と回答しており、3割の自治会が「通年で加入」、1割が「その都度加入」していることが分かりました。

(10) 会議の開催頻度



会議の開催頻度について、約3割が「月に1回」と回答しており、次いで約2割が「半年に1回」という結果になりました。また、「その他」において、「2~3か月に1回」や「必要な都度開催」という回答も多く見受けられました。

(11) 会議の開催方法



会議の開催方法としては、8割強が「対面」で開催しており、最も多い結果となりましたが、一部の自治会では「書面」や「オンライン」で開催しているということが分かりました。

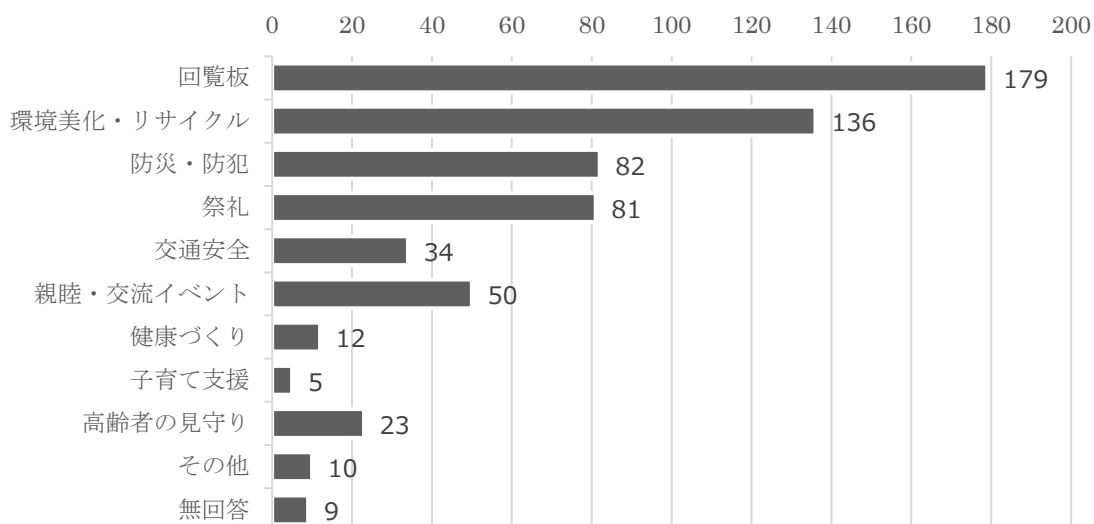
(12) 主な自由記述（自治会の運営について）

- 祭礼等は個人に任意の寄付に頼っており、不公平感が出ている。
- 集会所を作る資金がない為、会員の集まる場所がなく困っている。
- 会費が高いと意見が多いです。消防団と緑の羽根募金、茂原市社会福祉協議会、日本赤十字社、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金など、一括納入。一度社会福祉協議会より支払いが遅れたら催促がありました。
- 会費を 6,000 円/年にしたが、繰越金が増える傾向なため、実徴収額を今年度は 3,000 円/年にした。
- 慣例で毎月自治会ニュースを作成し、回覧で回す。これが大変労力を使うことになる。
- 連合自治会及び各種団体の活動内容及び行事実施計画等、月 1 回自治会だよりを発行し回覧している。単位地自治会としては 2 か月に 1 回会議（役員のみ）を開催している。
- 役員はイヤと云う現状のなか「副会長は次年度の会長」となる事を決めているのでこれは大変助かります。これを維持したい。
- 会員の高齢化により、役員就任者がなかなか決まらない。また、祭礼に係る経費が多い。自治会の必要性が認知されていない。

- 自治会イベント前の準備、打合せは必要に応じ実施(月2回程度行うことがある)。
- 高齢化がすすみ役員のなり手ない。新世帯と古くからの世帯とのコミが図れない。
- 会費から募金や活動費の集金に戸数×金額だと、出入りがあった場合その都度変更や金額の訂正。班から会長、会長→会計へうまく伝わらず金額がわからないまま多く納めてしまっている部分もあります。
- 年会費 4,000 円の内 3,000 円は、消防や赤十字等の募金、残金 1,000 円がゴミの集積所の維持管理費。
- 適材適所の役員人事が無理な現状においては、役の簡素化が必要ではないかと思う。そこでうまれた気持ちの余裕を、今後の地区のための話し合いを行うきっかけとしたい。
- 無駄な行事が多い。
- 単位自治会は組長を選出し自治会の運営に当たる(年間の事業計画の実施)。防災、庁内イベントは自治会の基に恒常組織体制で行事を運営する。地区連合会では6回/年の役員会と年間行事を推進、全自治会長に招集するがなかなか参加率が上がらない(要体制検討)。

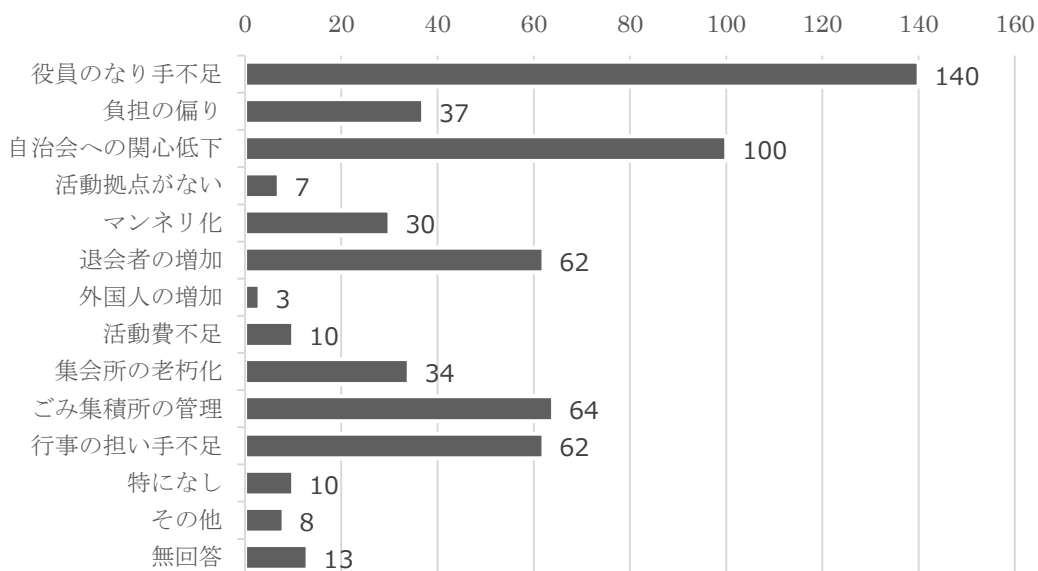
6. 自治会の現状と課題について

(1) 現在の取組内容（複数回答）



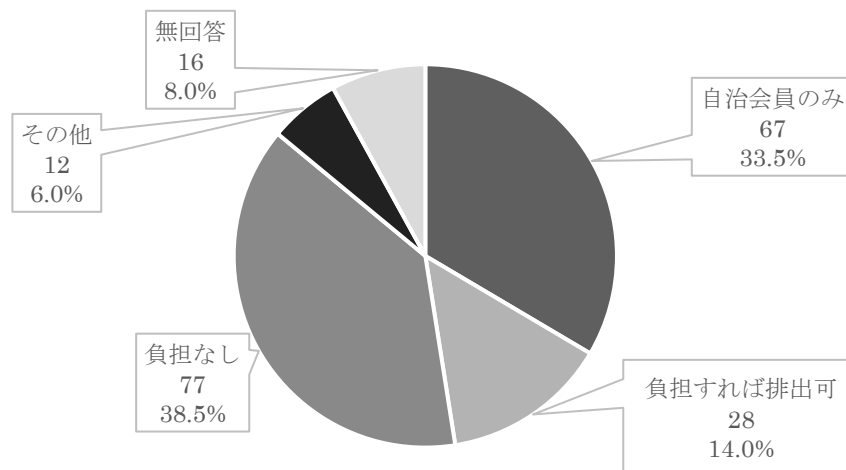
現在の取組内容について聞いたところ、「回覧板」が最も多く、次いで「環境美化・リサイクル」という結果でした。

(2) 現在の課題（複数回答）



現在の課題に関する設問では、「役員のなり手不足」が最も多く、次いで「自治会への関心低下」、「ごみ集積所の管理」、「退会者の増加」、「行事の担い手不足」という回答で、人手不足に関する回答が多いことが分かりました。

(3) ごみ集積所について



ごみ集積所について聞いたところ、「排出できるのは自治会員のみのみ」と回答した自治会が3割強、「自治会未加入でも掃除当番や費用を負担すれば排出可能」と回答した自治会が約1割強、「負担なし（誰でも排出できる）」と回答した自治会が約4割と最も多い結果となりました。

また、「その他」においては、退会者も排出可という回答も複数ありました。

(4) 主な自由記述（今後の課題について）

- 高齢者独居に対する災害時の対応に苦慮している。
- 高齢になり役員をうける人がいない。
- 自治会加入のメリットがない。何をやって良いか分からない。
- 自分の居住地に愛着がないのかな？
- 退会者及び不参加者との公平性について（街灯・U路溝の清掃や消毒等）。
- 祭礼の負担が多い。
- 新しく新築、転居で入って来る方は、ほぼ全て自治会に入らない状況です。若い人たちは自分達の事で精一杯なのか、無関心なのか困ります。
- 地域の顔のみえる形に運営しております。
- いかに自治会活動に興味をもってもらえるか？又は参加してもらえるか？今後、増々高齢化が進み、災害等の不安など、自治会としての役割をはっきりと明記する。
- 集会所の老朽化、メンテをするのも取り壊しも問題有。
- 会費設定（値上げ）。

- 限界集落をなくす対策は？田・畑の仕事及び市道脇、河川側の草刈や維持管理は？
- 地区の防災訓練への多数参加。
- 高齢化に伴い、それに見合った活動にしていく必要あり。
- ごみ集積所に曜日を守らずごみを出す人がいて、また、出せないゴミを出す人がいて困っている。自治会未加入者のごみ集積所への拒否をすることはむずかしい。
- 役員、各委員のなり手不足、役員等の負担軽減対策が課題だと思います。
- 高齢化により施設に入居する方、また、役員をやりたくないがため、自治会を退会する方が多い。5年先の草刈りはできなくなる自治会エリアが出ると思う。→業者に頼む？
- 自治会役員の高齢化、空家。
- 高齢化になり施設等に移り住む人が多くなりつつ有り。
- ●●●連合自治会（9自治会）と自治会+各種団体（9団体）の連携組織の確立。
（各種団体の長は長年の経験者、一方自治会長は2年任期で歩み寄りが無い）
- 自治会の会員数が少ないので、他の自治会との合併も必要と考える。
- 自治会活動内容（費用面含め）見える化を行い退会者を減らす。
- 地域に高齢の方が増えており、見守り支援の強化が必要。又、賃貸住宅居住者の取り込み方法検討要。
- 班編成の見直しにより班数削減を実施し、役員定数減を図る。
- 外国人が初めて転入してきたが、取組み方が判らない。
- 高齢化の為、自治会そのものの存続が危ぶまれている。
- 側溝に入っている土の撤去。高齢者の見守り。ゴミ集積所の整備及びルール徹底。
- 会員数30数戸となり、自治会運営が厳しく自治会廃止か合併の選択が必要となっている。
- 高齢化に伴い役員となり手がいないため、近い将来、自治会の解散を含めて自治会員に提案している状況。
- 役員となり手の確保、自治会への関心低下、退会者の増加、ごみ集積所の管理（不法投棄対策）。
- 自主防災に関する豊富な知識をもった人材不足。
- 現在、自治会長の次期候補者がいないため選出方法の見直しが必要となっている。
- 新規加入者が少ない。
- 自治会に入っている人も土日が休みとは限らず、交代勤務をやっている方もいらっしゃいます。それでも休みを取り自治会の総会に参加したり都合をつけてくれる人もいるのに、土日休みでも自治会の役員がまわってくると出来ないと言って退会する方はどうかと思います。
- 近年（もともと同年代で作りに上げられた自治会のため）高齢化、介護の問題、さらに若い世代は常勤等で常時家にいないため人々がまとまりにくい。

- 人口減に伴う諸問題は増すばかりであり、昔からのやり方では無理が生じている。
- 各種役の効率化を含めた、住民に負担を背負わせない運営方法の改善が必要と思う。
- 無理、無駄、ムラの削減。
- 退会者増加の対応。
- 次の自治会長候補が全く見当たらない（昨年から探しているが）。
- 円満な進行。
- 盆踊り大会、町民祭、年賀交歓会等、町内行事の規模の縮小。
- 班長ですらやるのがいやで退会するお宅が増えていること。
- 何年後かには解散の危機的存在である。
- 面倒くさいらしく、嫌々やっている感じが見られる。
- 寄附金等の集金について苦情多く、役員も対応に苦慮している。
- 新規（引っ越してきた人）の人も自治会加入を願ってくる。
- 築 100 年集会所の新築が資金不足で出来ない。
- 昔の様な隣同士の付き合いといった事もなくなった様を感じる。
- 自治会への入会を推進する事で推進マニュアルを作成し取り組んでいる(組長、役員で推進)。
- 自治会への関心低下？高齢化で退会者が増加、また、役員のなり手が無い（難航）。
- 高齢者が多く、役員の選出に毎年苦労している。(65 歳以上でも最近では仕事に就いている人が増えているので、なかなか引き受けてもらえない。)
- 自治会のメリットをどう見出すか

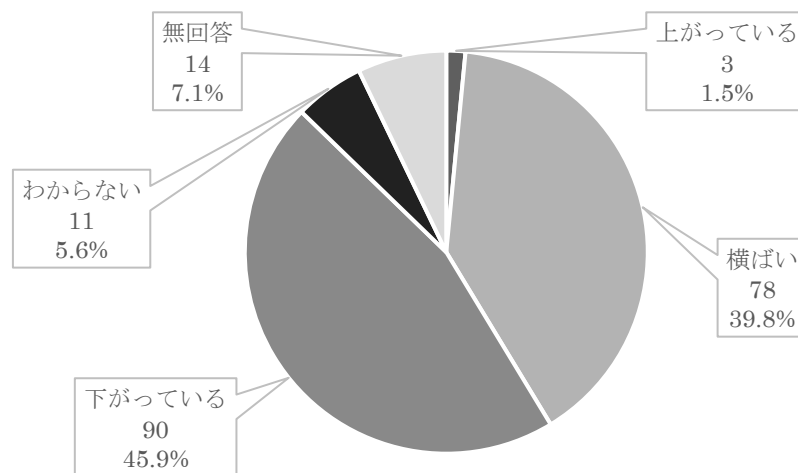
(5) 主な自由記述（今後取り組みたいこと）

- 自主防災会を中心として班単位で独居者に対応していく方針。
- 考えている。
- 防災対応品の購入。
- 自治会の運営を適切に運営していく事。
- 自分の住んでいる国・県・市に愛着を持って欲しい。
- 自治会の会則で会費について、細則が必要になっていると思うので整えたい。
- 本来の自治会の使である住民の安全、防災に力を入れたい。
- 任意団体「木崎西部わくわく広場」を通じて、9 月頃ハンゴ炊き兼防災訓練を行う予定。若い人を呼び込む狙いもあります。
- とにかく会員同士のコミュニケーションを図る。日頃のちょっとした会話が大事ではないか。
- 会合などに参加しやすい環境づくりにより参加人員の向上を図る。
- 集会所の建替。

- 必要最低限の自治会活動を取り組むこととする。多くの事をやればやるほど次の役員、会長のやり手がない。
- 新しい住宅の勧誘を強く進める。
- 子供会が休会となっているので再編を行う。
- ●●●第4自治会、第8自治会が鶴枝川の影響を受け水害が及ぶ。河川敷改修に挑む。
- 回覧で自治会活動の報告を継続していく。
- 地域として防災対策の強化を進めたい。
- 会員の高齢化に伴い、町内清掃等の活動で傷害等の可能性が増大している。団体保険加入等で安価に安全保障できるか検討したい。
- 4月から37世帯増。新世帯との関わりをつくりたい。4/13(日)歓迎会実施予定。
- 他自治会との合併。
- 自治会費の減額（加入促進と退会抑制の為）。
- 赤い羽根や赤十字、社会福祉協議会会費は戸数×〇〇円ではなく、自治会からいくらかという感じでしていただきたい。募金額は自由なので。
- 防災対応（井戸設置他）等、身近なことから取り組みたい。
- 楽しい自治会をめざし、行事を充実させていく。
- 自治会への入会を半強制的にすることはできないか（政令等で）？あるいは、自治会そのものをなくすことができないか？
- 自治会に入会しないと何か不利になる様な事が有れば入会に繋がる？現状は非自治会員でも全く同等の暮らしが出来ている。条例等でシバリが出来れば？参加自由が課題。
- 他人の事は分からないので何をしたら良いか分からない。
- 集会所の新築問題が解決しないと何もやれない。
- 「自治会消滅」を一度試行してみたら地域住民がどう反応するのか、という意見も聞かれるがまだ熟考中です。
- 道路水没の要望書作り。
- 班の再編。

7. 自治会加入促進の取り組みについて

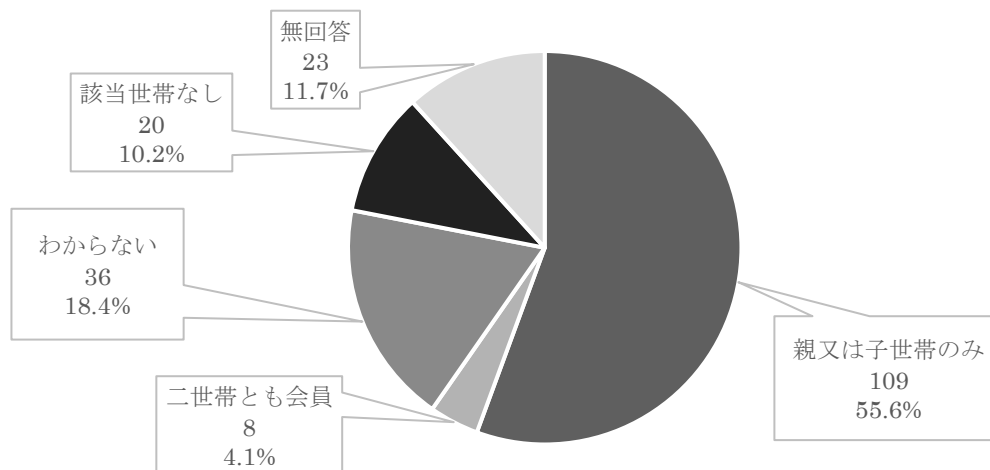
(1) 加入率の推移



加入率の推移について聞いたところ、「下がっている」という回答が46%と最も多く、次いで「横ばい」と回答した自治会が40%で、全体の8割強の加入率が停滞していることが見てとれます。

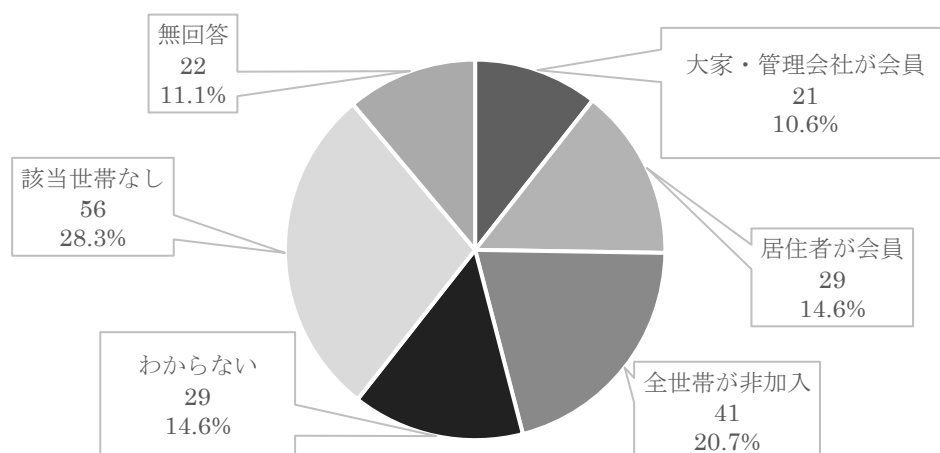
なお、加入率が上がっている自治会は全体の1%でした。

(2) 二世帯住宅の取り扱い



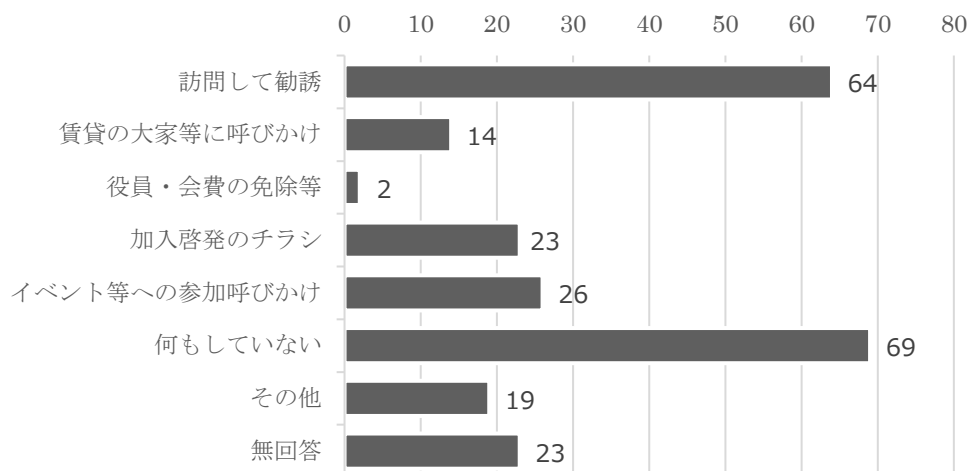
二世帯住宅の取り扱いについて聞いたところ、5割強が「親または子世帯のみが会員」と回答しました。

(3) 賃貸住宅の取り扱い



賃貸住宅の取り扱いについての設問では、居住者が自治会員となっている場合が 15%、大家・管理会社が自治会員となっている場合が 10%であり、「全世帯が非加入」である自治会が 21%と最も多い結果になりました。

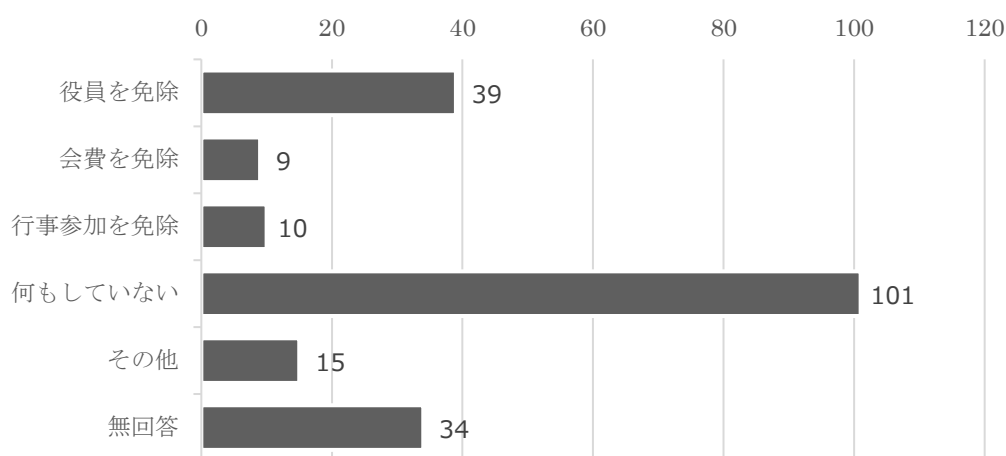
(4) 未加入者の対応（複数回答）



未加入者の対応については、「何もしていない」という回答が最も多い結果となりましたが、次いで多かったのは「訪問して勧誘している」という回答で、実際に未加入者に対して行っている対応の中では最も多い方法であることが分かりました。

なお、「その他」では、「転入時に呼びかける」という回答が複数ありました。

(5) 退会者の抑制策（複数回答）



退会者の抑制策についての設問では、「何もしていない」が最も多い結果となりましたが、次いで多かったのが「役員を免除」という回答で、実際に退会者の抑制策として行っている対応の中では最も多い対応方法であることが分かりました。

(6) 主な自由記述（自治会加入促進の取り組みについて）

- 新規移住者はなく、加入率が高い。高齢化による退会(施設入所など)で会員は年々減少している。
- 市の行政と自治会との関連について、法的根拠があるのかわからないが、条例等で定めて、市民全員が自治会に加入するようにしてほしい。
- 加入メリットが見えるようにする。
- 近い将来加入率は40%程度まで下がり、60%が入会しないと予想します。全世帯を自治会加入にする（自動的に）ぐらいの事を考えた方がいいのかも知れません。会長個人では限界がある。
- 自治会活動に参加すると、役をおしつけられるので、なるべく参加しないという人がかなり多いのでは。
- 非会員へのゴミポスターの配布に合わせ、入会勧誘、文書を配っているが、入居してすぐに入会しない世帯や退会した世帯はほとんどが入会しないのが現状。
- 自治会加入のメリットをだすのがむずかしい。
- 新入居者宅を訪問し自治会の現状などを説明し加入促進に努めています。
- 市としても加入促進のメッセージを未加入者向けに発信してください。
- 高齢者が容易に参加できるイベントを考案し、高齢者の退会を減らす。自治会イベントへの参加率を上げるため、PR活動を行う（回覧板利用、子世帯への宣伝）。

- 高齢の1人住いの方の退会や、他地区在住の子が引き取られる方が居る。集合住宅の増加により、大家と連絡が取りにくい。
- まずは環境美化等のイベント参加等を促し、加入に向けての環境作りを進めることとしたい。
- 自分に不都合がないと思うと自治会は不必要と思うのか？難しい。
- 社会全体の流れ、地域性の変化によって、加入促進は労力が必要。社会全体の仕組みの変化（ネット社会が浸透）で自治会の必要性がなくなっているため、根本から検討することが必要。
- 啓発活動をしているが加入してくれない。意識が低く、日々苦勞の連続です。
- 自治会の必要性の認知が薄いので、今度は市役所で促進策を推進願いたい。
- 大きな役員がまわってくるとみんなやめると言います。私も土日仕事でできないのですがやれる事をやればいいとの事で今回うけました。
- 近隣のような「つきあい」がないので加入しやすいとは思いません。
- 少子高齢化に伴う世帯数の減少は一自治会の対策範囲を超えており、市、県単位での過疎化対策を強化していかなければ主たる対策とはならないだろう。
- 手間や労力の削減対応どうするか？（法人化による）
- 楽しく加入していて意味のある自治会を目指す（高齢者対策、防災活動など）。
- 越されてきた方には訪問して勧誘をしています。転入世帯及び家庭に事情がある場合は役員を免除しています。
- 新築住宅のみの対応を行っているため、旧宅も今後は勧誘せねばならない。
- 従来からの居住者、退会した居住者の再加入は皆無と言えるほど困難である。転入者、新規入居者を優先して加入の推進を図っている。比較的に入会が有る（全員は無理）。
- 世帯数が増えていないため増減はありません。
- 「自治会加入メリットなし」と考える者が多い。「自主防災」の面で。
- 任意の団体なので強制加入していない集積所の利用は維持管理費を徴収している。
- 2、3年しか移住しない人や、滅多に会えない家庭（昼間は留守で夜だけ居る）については、なかなか加入を勧められない。
- 自治会は不要という人がいる。スマホで回覧をとる人もいる。

8. その他の意見・提案

- 別に自治会としては活動する催しはないので、年1度は集る機会つくりたいと総会にて話し合う。
- 加入して良かったと思われる施策を行う。市が積極的に活動方法目的を示す。活動に見合う報酬を与える。回覧物、配布物を少なくする。一括集金は止める。
- 自治会内の世代切り替え等の推進。
- 市連で自主財源を持ち、(青少年育成のもと個別で100円×全世帯=240万円)自らの力で活動を行うべき。今の市連は何の為なのか。現状であれば3役で十分。青少年育成は自力で資金を作るべき。
- 読売新聞、4年4月22日付けで、自治会の将来ということで、記事が載っていました。自治会活動の今後の難しさをあげ、子供の見守り、高齢者の居場所作りなど、これまでわずかながら担ってきた自治会、地域社会に専門的に取り組むNPOが増えている。自治会の負担を減らす為に、自治体がこうした団体を引き入れる役割を果たすことが要になるのではと記載されていました。
- 県営は入居と同時に加入となっている。
- 若い世帯に限られていて、十年後は成り立っていないと思う。
- 自治会長委託料はもっと安くていいと思う。200円/世帯とか。なくてもいいくらい。
- 少子高齢化が進み、行事などの参加者が減少している子供達の多い世代は積極的に参加し退会者も少なかったと思います。現状に合った自治会活動の推進。
- 自治会員が参加できる定期的な催し物(季節ごとのお祭りなど)を企画し交流を促進する。
- 今の自治会をリセット(解散すること)する。
- 自治会を市議会議員の数に統合して、市議会議員が代表として災害他に対応する様に変える。ゴミ集積所は収集会社が管理する様に変える。
- 民生委員、防犯指導員は市職員退職者が務めるように変える。
- 青少年育成指導員は学校側で決めるように変える。
- 市の取組として、勧誘促進チラシの配布。
- 以前、リサイクルには還元金がありましたが今どうなっているのでしょうか、そのやり方に戻したらいかがでしょうか。
- 文書での回答、寄付金徴収、会議への参加等々、煩雑なことが多すぎる。これではなり手がいないのも納得。まして勤めている人は無理だと思う。簡素化を要望します。
- 初めての試みなので、不安だらけですが、一年間全うできる様、進んで行きたいと思います。
- 加入啓発チラシのPDFでの供給はやめてほしい。

- 高齢者が互いに助け合うことが出来る地域・社会づくり。子供達を地域で育てる（コミュニティ強化）。安心・安全な地域作り（災害、獣害を無くす）。
- 二世帯住宅はそれぞれ会員化することが望ましいと思われるが、慣習の問題もあるので難しい。少なくとも子供世帯に代表者を変更できると自治会としての若返りが図れると思います。
- 個人情報の中「老人見守り」にしても老人個人宅へ入れるのか、昔のように気楽に出来ない自治会活動になっている。死亡したのか、どうなのか調べるのも難しい。
- 自治会は本当に必要か考える機会が教育にもあってほしい。
- 自治会会員相互の親睦を深め、隣人を知ることから始めることかなあ？若い人は飲み会など出てこない。
- 高齢化が進み、若者は便利な街へ転居するなどし、自治会活動、運営などむずかしく感じる。
- 会長の気苦労、雑用が多過ぎる。分担すれば良いが、結果役員の引受手がなくなるので会長一人がかかえこんでしまう。
- コミュニケーションを図るためには挨拶が基本であるが出来ていない。挨拶が出来る街として市で取り組むことが出来ないか。防犯にも役立つものと思います。
- このままいくと独居老人が多くなるだけなので、もっと自治会への補助金等を増やし活性化することが必要と思われるので、是非御検討を。
- 市役所においては、自治会未加入者の自治会を通さない要望には安易に応じないで欲しい。
- 自治会役員のなり手不足の状況下にあって、民生委員等候補者の推薦については苦慮している。
- 不審な訪問販売員が来るので日頃のパトロール強化を図りたい。
- 本自治会は 59 戸。平均年齢は 61 才。会員が女性も多く、今後役員のなり手不足（役員 会長 1 名、副会長 2 名、会計 1 名、班長 4 名）となります。
- 自治会のあり方が今の時代にあっていない気はします。退会してもゴミ出しできて役員もやらなくて良ければ、皆自治会に入らないとか無くしても良いと思っている人も多いと思います。
- 動けない、あるいは動けるけど時間がない。自治会を活性化させることにより生活が（いろんな意味で）豊かになればいいと思うが、余裕がなさすぎて必要最小限になってしまう。
- 柱となる運営方法はあるだろうが全ての条件が同じではない現状に、昔からのやり方やモデルケースの模倣では住民は疲弊してしまう。年齢構成、職業、新旧住民割合など、条件が変われば対処も変えなくては続けていくことはきつい。

- 誰でも簡単に対応可能な自治体（役所関係）手続きの改善を希望したい。
- 役員選びを貧乏くじ引きにはいけない。
- 祭礼行事のあり方（神輿渡御の必要性、費用負担大、自治会会員の関心低下）。
1日だけの対応でよいのではないか。神輿は市役所ホール等、一堂に集めて展示、渡御なし。宴席対応の省略化。七夕まつりと一体化にする、春季、秋季は拝礼のみ。
- 結局、人間としての価値観の変化が大きいと思われる。最近は多くの人が自己中心的で、気ままにすごしたいようだ。人は用意したイベントには多く参加するが、イベントを企画、運営する側には決してなろうとしない。参加後、ゴミは置いて行ってしまう。他者の為に奉仕する喜び、ボランティア教育の充実が必要では？
- 核家族化や人口減少、個別化が進んだいま、自治会加入が強制でない以上、先細りしてくるのはやむを得ないと感じます。
- 自治会活動を行う意味ってあるんでしょうか？私が若い頃は、インターネットやスマホ等がまだなく、情報を得るために自治会活動を行うことも、ひとつの方法として必要でしたが、今はいろいろな方法でいくらでも情報を取得できます。
- 環境保全や社会福祉など行政の支援が多様化している中で、自治会の役割は低下しているので、将来的にはコミュニティを維持する最小限の活動をする仕組みに変えてくことが望ましい。
- 活性化は考えていない。楽な運営のため事業を減少させようと提案しても却下。高齢者達の意見が優先で新しい取り組み出来ない。行政も自治会活動をあまりあてにしないでほしい。
- 役員のなり手を増やすために、報酬を支給してはどうか？との意見が出ている。他の地区にて活動費を報酬にあてているような事例はあるか？情報が欲しい。
- 昔からの自治会なので規約も無い中、何の問題もなく仲良く楽しく運営されている。人情もあり互譲の心で対応している。
- 当番で自治会長になり、自治会の方がゴミ集積所を常にきれいにしてくれていたのを感じうれしく思った。近所の人と話す事も増えました。働いている人が多いので自治会長になり、仕事の時間休をもらい寄付金や役所に行くような状況で、いろいろな会合には休まないで参加できないので参加できなかった。
- 現状の茂原市全体の自治会加入世帯を登録し、住民台帳と照らし合わせて、非自治会世帯に例えば市民税をプラスして負担してもらい、その分を各自治会に還元する（全国的に進める）等、住民全体が公平な市民生活を出来る様に行政の取り組み、リーダーシップを期待する。
- 土日が仕事であり、仕事と自治会活動を両立できるか不安である！！

- 自治会の組織、行事の簡素化等、高齢化に対応した組織体制を実施してきたが、それ以上に役割分担が出来ない会員が増えている。死亡、転出者も多い（会員減の要因）。社会減少。
- 自治会の再建の小さなスタートを切れれば…と思っている。住民の横のつながりが希薄になっている昨今、加えて各種犯罪の往行による「近所づきあい」のむずかしさがカベだなあと思う。
- 空き家の樹木（道路はみ出し）刈り取り、道路（脇）陥没箇所修理、大通り側溝内ゴミ除去など市に要請してもなかなか手をつけてくれない。
- 現在の侵入強盗が流行しているために我家では飼育犬を連れて町内の防犯対策、また、高齢者宅一人暮らし宅の声かけ等を行いたい。
- 最近「個」を大切にする時代背景の為、自分の生活パターンを隣近所から邪魔されたくない家庭が多く、地域よりも自分の親族や友人とのつき合いを重視する家庭が多くなっている。その為、地域の人とのふれ合いや会話もない家庭が非常に多いのでなかなか地域コミュニティが発展しない状況です。皆、仕事を持っていて、行事にも参加せず、集まるのは70～80歳の高齢者です。
- 新規転居者との親睦がこちらが老人では困難か？魅力的な活動を推進出来る熱意のある人物が欲しい。

9. 調査票

令和7年度 茂原市自治会長アンケート

令和7年度自治会長 様

茂原市マスコットキャラクター



令和7年3月6日

茂原市では、地域で住民の皆さんがより豊かで快適に安心して暮らしていくために、自治会をはじめとする地域コミュニティの充実が欠かせないものであるとして、茂原市自治会長連合会、各地区自治会長連合会及び各単位自治会と連携しながら、コミュニティ活動を支援しております。

自治会の加入率は年々減少傾向にあります。近年相次いでいる自然災害等への対応や防犯、環境整備、青少年の健全育成など、自治会の果たす役割はますます重要性を増しています。

この度、各自治会の実態を把握するとともに、今後の運営の参考にさせていただくことを目的として、自治会長の皆さんを対象にアンケート調査を実施することとなりました。

趣旨についてご理解いただき、調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

居住地	<input type="checkbox"/> 茂原地区 <input type="checkbox"/> 高師地区 <input type="checkbox"/> 東郷地区 <input type="checkbox"/> 豊田地区 <input type="checkbox"/> 二宮地区 <input type="checkbox"/> 五郷地区 <input type="checkbox"/> 鶴枝地区 <input type="checkbox"/> 本納地区 <input type="checkbox"/> 新治地区 <input type="checkbox"/> 豊岡地区 <input type="checkbox"/> わからない	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 回答しない
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上		
在職年数	<input type="checkbox"/> 1年目 <input type="checkbox"/> 2年目 <input type="checkbox"/> 3年目 <input type="checkbox"/> 4年目 <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上		
就労状況	<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 定期的(週に2~4日) <input type="checkbox"/> 定期的(月に数日) <input type="checkbox"/> 仕事はしていない		

1. 自治会長の選出方法について

会長の任期	<input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年 <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 <input type="checkbox"/> 特に定めなし
選出方法	<input type="checkbox"/> 選挙 <input type="checkbox"/> 互選 <input type="checkbox"/> 輪番制 <input type="checkbox"/> 抽選 <input type="checkbox"/> その他()
役員の免除制度	<input type="checkbox"/> 制度なし <input type="checkbox"/> 一定条件のもとで免除()
会長・役員任期	<input type="checkbox"/> 4月~3月 <input type="checkbox"/> 1月~12月 <input type="checkbox"/> 総会から次の総会まで(例年: 月)
の始期及び終期	<input type="checkbox"/> その他()
自由記述欄(自治会長の選出方法について)	

2. 自治会の運営について

年会費	<input type="checkbox"/> 会費なし <input type="checkbox"/> 1,000円未満 <input type="checkbox"/> 1,000円以上5,000円未満 <input type="checkbox"/> 5,000円以上10,000円未満 <input type="checkbox"/> 10,000円以上 <input type="checkbox"/> その他()
会計年度の始期及び終期	<input type="checkbox"/> 4月~3月 <input type="checkbox"/> 1月~12月 <input type="checkbox"/> 総会から次の総会まで(例年: 月) <input type="checkbox"/> その他()
会費の集金方法	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 電子決済 <input type="checkbox"/> その他()
会費の集金頻度	<input type="checkbox"/> 年に1度 <input type="checkbox"/> 半年に1度 <input type="checkbox"/> 月に1度 <input type="checkbox"/> その他()
会費免除制度	<input type="checkbox"/> 制度なし <input type="checkbox"/> 一定条件のもとで免除()
寄附金等	<input type="checkbox"/> 会費に含めて集金 <input type="checkbox"/> その都度集金 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> その他()
祭礼費用等	<input type="checkbox"/> 会費に含めて集金 <input type="checkbox"/> その都度集金 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> その他()
集会所等の積立	<input type="checkbox"/> 会費に含めて集金 <input type="checkbox"/> その都度集金 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> その他()
自治会活動保険	<input type="checkbox"/> 加入なし <input type="checkbox"/> 通年で加入 <input type="checkbox"/> その都度加入 <input type="checkbox"/> その他()
会議の開催頻度	<input type="checkbox"/> 週に1度 <input type="checkbox"/> 月に2,3度 <input type="checkbox"/> 月に1度 <input type="checkbox"/> 半年に1度 <input type="checkbox"/> その他()
会議の開催方法	<input type="checkbox"/> 対面 <input type="checkbox"/> 書面 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> その他()

自由記述欄(自治会の運営について)	
3. 自治会の現状と課題について	
現在の取組内容 (複数回答)	<input type="checkbox"/> 回覧板 <input type="checkbox"/> 環境美化・リサイクル <input type="checkbox"/> 防災・防犯 <input type="checkbox"/> 祭礼 <input type="checkbox"/> 交通安全 <input type="checkbox"/> 親睦・交流イベント <input type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 高齢者の見守り <input type="checkbox"/> その他()
現在の課題 (複数回答)	<input type="checkbox"/> 役員のなり手不足 <input type="checkbox"/> 負担の偏り <input type="checkbox"/> 自治会への関心低下 <input type="checkbox"/> 活動拠点がない <input type="checkbox"/> マンネリ化 <input type="checkbox"/> 退会者の増加 <input type="checkbox"/> 外国人の増加 <input type="checkbox"/> 活動費不足 <input type="checkbox"/> 集会所の老朽化 <input type="checkbox"/> ごみ集積所の管理 <input type="checkbox"/> 行事の担い手不足 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他()
今後の課題 (自由記述)	
今後取り組みたい こと(自由記述)	
ごみ集積所に ついて	<input type="checkbox"/> 自治会員のみ排出可 <input type="checkbox"/> 自治会未加入でも掃除当番や費用負担すれば排出可 <input type="checkbox"/> 誰でも排出可 <input type="checkbox"/> その他()
自由記述欄(自治会の現状と課題について)	

4. 自治会加入促進の取り組みについて	
加入率の推移	<input type="checkbox"/> 加入率が上がっている <input type="checkbox"/> 加入率が横ばい <input type="checkbox"/> 加入率が下がっている <input type="checkbox"/> わからない
二世帯住宅	<input type="checkbox"/> 親または子世帯のみが会員 <input type="checkbox"/> 二世帯とも会員 <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 該当世帯なし
賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 大家・管理会社が会員 <input type="checkbox"/> 居住者が会員 <input type="checkbox"/> 全世帯が非加入 <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 該当世帯なし
未加入者の対応 (複数回答)	<input type="checkbox"/> 訪問して勧誘している <input type="checkbox"/> 賃貸住宅の大家や管理会社に呼びかけている <input type="checkbox"/> 転入世帯・現役世代は役員や会費を一定期間免除 <input type="checkbox"/> 加入啓発のチラシを配布している <input type="checkbox"/> イベント、清掃、防災訓練等への参加呼びかけ <input type="checkbox"/> 何もしていない <input type="checkbox"/> その他()
退会者の抑制策 (複数回答)	一定条件のもとで <input type="checkbox"/> 役員を免除 <input type="checkbox"/> 会費を免除 <input type="checkbox"/> 行事参加を免除 <input type="checkbox"/> 何もしていない <input type="checkbox"/> その他()
自由記述欄(自治会加入促進の取り組みについて)	

5. その他の意見・提案
自治会活動を行う上で、日ごろから感じていることや、自治会活動を活性化させるための提案など、自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。



令和7年度 自治会長アンケート報告書

令和7年6月

茂原市自治会長連合会事務局
(茂原市市民部生活課市民活動支援センター)
〒297-8511 千葉県茂原市道表1番地
TEL0475-20-1505 FAX0475-20-1600
seikatu@city.mobara.chiba.jp